

事例3

全員参加による教育課程の編成

教育目標を軸として教育課程を見直す

静岡県静岡市 静岡豊田幼稚園 (私立)

研修のねらい

- 園全体の保育の質を向上させる  
保育者の経験や考えを取り入れた、実効性の高い教育課程ができあがることで保育の質が向上する。
- 園としての独自性を明確にする  
教育目標などを踏まえた教育課程の編成によって保育のねらいが明確になり、保護者への説明も説得力のあるものとなる。
- 保育者一人ひとりの意識が高まる  
教育課程の編成にかかわる経験は、自身の保育を見直して課題を発見する機会となる。

所要時間 **1時間30分**  
(1回の話し合い)

用意するもの

- ・ノート(話し合いの記録用・各自用意)
- ・「幼稚園教育要領解説」
- ・メモ用紙(KJ法を行う場合)

研修の流れ

約3回

約20回

約15回

1 園の方針の確認

建学の精神や教育目標など、園の柱となる方針について保育者間の共通理解を図ります。さらに、育てたい子どもの姿へと、話し合いを深めます。



**POINT**  
★保育の根本となる方針なので、全員が意味やねらいを理解するまで、しっかりと話し合います。

2 保育の重点(大切にしたい気持)を文字化

園の方針を実現するには、どのような保育を展開する必要があるのかを検討して方向性を明確にします。



**POINT**  
★保育で大切にしたい気持ちを明らかにすることは、大きな柱となる教育目標と、具体的なねらいや保育内容を整理した教育課程とをつなぐ視点になります。  
★KJ法<sup>®</sup>を用いることで、多様な意見に共通する考えをまとめやすくなります。

※複数の情報や表現を、グループ化し、新たなアイデアを発見する技法

◎各園が掲げる建学の精神や教育目標は、本来、日々の保育でめざすべき大切なもの。しかし、教育課程との関連が明確でなく、具体的な保育実践に結びついていない現状も見られます。静岡豊田幼稚園では、保育者全員が園の方針を確認・共有したうえで、教育課程を見直す作業を進めています。特に、保育者同士が意見を述べ合うプロセスを重視することで、一人ひとりの理解や意識の向上を促し、保育の質向上につなげています。

3 教育課程の整理

保育の重点に沿って現状の教育課程を見直し、ねらいや内容に追加や変更を加えます。



**POINT**  
★教育課程の編成は時期や子どもの発達過程といった視点が重要なため、各年齢の担任がグループになって話し合った後、全体で検討します。  
★必要に応じて、「幼稚園教育要領解説」を参照しながら作業を進めます。



◎この園の場合は…  
2008年4月から月2、3回のペースで研修を続け、1年数カ月をかけて、園の方針の確認から教育課程の整理までの作業を終えました。今後も研修を続行し、今年度いっぱい、新しい幼稚園教育要領に準拠した教育課程を編成する予定です。

◎この園の場合は…

教育目標にもとづいて「3つの愛(人・遊び・環境への愛)」という視点を設定。それぞれの視点について保育の重点を確認し合いました。

◎3つの愛(一部抜粋)

	対象	保育の重点(大切にしたい気持ち)
人への愛	自分	自分で考え、行動する充実感を味わう
	先生	先生に親しみをもってかわり、信頼感を抱く
	友達	友達の思いに気づき、理解しあう喜びを感じる
遊びへの愛	目的	やりたいことを見つけ、目的に向かって遊びを進める
	方法・プロセス	考えたり工夫したりして遊ぶ楽しさを感じる
	成し遂げる結果	最後までやり遂げた喜びを感じる
環境への愛	自然	自然の変化や美しさ、不思議さに気づき、生活に取り入れる いのちの大切さを知り、世話をする
	生活環境	生活しやすい環境をつくったり、探したりする
	もの	遊具や用具を大切に使い、愛着をもつ

研修の方針



園長 宮下友美恵先生

◎園外研修もためになりますが、保育者が自分の頭で考えて課題を克服することも大切という考えから、毎年、園内研修に取り組んでいます。現在のテーマを選んだのは、園目標を「飾り物」にせず、具体的な実践につなげたいと考えたため。教育課程の編成は、保育者一人ひとりの気づきを大切にしながらつくり上げるプロセスが重要と考え、歩みはゆっくりでも皆でつくり上げていくスタンスで取り組んでいます。研修を通じて保育に対する考えが深まると、同じ場面でも見方が大きく変わります。保育者自身が成長を続けることで子どものすばらしさをより深く理解し、保育者という仕事のよさを改めて実感してほしいというのが私の願いです。

研修を受けた感想



大村大輔先生  
(5歳児クラス担当)

◎保育者として8年目を迎え、自分の中で「当たり前」になっている保育に対する考え方を見直すチャンスととらえて真剣に取り組んでいます。研修を始めてから、子どもの何気ないひと言にどのような気持ちが込められているのかを以前よりも踏み込んで考えるなど、自分の保育を客観的に見つめられるようになりました。今後も保育者を続けていくうえで、大切なことを学んでいると実感しています。



林久美子先生  
(4歳児クラス担当)

◎ふだん、実践している保育について話し合い、記録として書き出すと、新たな発見があることに驚かされます。特に、ほかの先生がたから事例の話聞くのが勉強になりますね。1年以上、研修を続けるうちに、日ごろから教育課程や園の方針を意識できるようになりました。また以前は「幼稚園教育要領解説」を読む機会はありませんでしたが、研修中に何度も読み直して大切なことが書かれていることを改めて感じています。



大塚沙織先生  
(3歳児クラス担当)

◎2年目の現在は、保育について必死に学ぶ毎日です。研修を通して、ほかの先生がたが深い考えをもって子どもに接していることを知り、自分の考えの浅さを痛感する一方で、ふだんからどのような視点を意識すればよいか明確になりました。今は研修の内容を理解するだけで精一杯の状況ですが、そこから少しでも多くのことを吸収して、日ごろの保育に生かしていきたいと考えています。

静岡豊田幼稚園



◎「3つの愛(人・遊び・環境への愛)」を重視し、「共に生きる喜び」を感じられる子どもを育成。文部科学省などの研究指定をたびたび受けており、現在の研究は「静岡県私立幼稚園振興協会教育課程研究園」の指定を受けた取り組み。

園長 宮下友美恵

所在地 〒422-8006  
静岡県静岡市駿河区曲金2丁目5番21号

園児数 169名(9クラス・3年保育)